



豆田ゆう子の
3月議会報告

～生活って政治！！ Let's 市民力～



ふくおか
市民政治・ネットワーク

3月議会は、専決処分1件を承認、教育委員の任命に同意、議案30件、議員発議1件を審査し可決しました。

平成30年度予算は、一般会計218億8604万円・特別会計124億1074万円・企業会計（下水道）28億2169万円です。

4月1日からの学校給食調理業務の委託について、3月30日に臨時議会が開催され、業務委託金を増額しました。

🌸 3月議会から

平成30年9月から下水道料金を改定（条例改正）

ネット賛成⇒賛成多数につき可決

平成28年度に設置された下水道運営審議会で、今後の下水道事業について審議され、平成29年8月答申が出されています。この答申を受けて、政策会議を経て今回の提案になっています。（詳しい料金は広報をご覧ください）

福津市は、二つの週末処理場を整備しており、その整備に多額の投資をしています。今後その返済が始まり、維持管理経費もかかります。衛生的な生活のための継続的な下水道事業の展開のために、料金改定は必要だと考えます。

津屋崎学童保育所の指定管理者決定

ネット賛成⇒全員賛成可決

学童保育利用者増加により、第3・4学童保育所を増設。平成30年4月1日から平成32年3月31日までの期間で指定管理者を指定。

NPO法人ワークスコープ 代表：田嶋 羊子

🌸 臨時議会から（3月30日）

4月からの学校給食調理業務委託料を増額！！

→全員賛成につき可決

平成29年12月議会で、委託料の提案がされていましたが、その金額では引き受けてくれる業者が見つからないため、委託料の増額が提案されました。理由は、人件費の高騰・最低賃金の予測誤り、必要人員の見誤りなどが揚げられました。

年間2354万1千円の増額

近隣でも、業者選定に苦慮している自治体が見受けられますが、“明後日からの調理業務業者が決まっていない”という状況はありません。見通しが甘すぎるのではないかと、現場を見る事を忘れていないかと思うばかりです。



一般質問から

☆ 高齢者の移動を考える

全国には、高齢者の移動手段確保のために、独自に様々な交通費補助をしている自治体があります。



例えば・・・
福岡市：70歳以上・高齢者乗車証発行。介護保険医療の所得段階区分（基準保険料の1.3倍まで）によって、交通費の一部を助成。

奈良市：ななまるカード優遇措置。市内に3カ月以上居住する70歳以上。奈良交通バスの優待乗車ができる。市外にまたがってもok。

北海道帯広市：健康と生きがいづくりの支援、積極的な社会参加の促進、高齢者の交通安全を確保。顔写真付のバス無料乗車証を交付。裏面に緊急時連絡先を記入。

運転免許証自主返納者には、ミニバスの1年間無料等の特典があります。が、そもそも車を運転しない高齢者や西鉄バスの方が利用し易い方もいらっしゃいます。そこで、高齢者の外出支援・生きがいづくりのためにも、交通費補助を提案しました。

答弁：現状では助成は大変難しい。市内交通網の整備、地域支え合いの推進によって支えていきたい。



☆ 子どもの参加を確保するためにも ことも条例の検討を

昨年開催された「ふくつ未来会議」（ワークショップ）には、中学生の参加があり、市民の一員として、意見を述べる事が出来ました。

18才未満の子どもが、市の計画・施策の計画段階から参加できる機会はないかなかなかありません。子どもに関わる計画の時でさえも、当事者である子どもの参加を確保していないものがほとんどです。

担当者が代わっても、子どもの参加を促し、機会を確保するためにも、子ども条例が必要だと考えます。平成30年度に策定する総合計画に盛り込むべきではないかと、提案しました。

答弁：子ども達の参画の必要性が高いと思われる物については機会の確保に努めたいし、検証にも参画して欲しい。総合計画に盛り込むかは、担当部署で協議し、検討・判断したい。



☆ 市民への情報公開はすすんでいるか

市長は、情報公開の重要性を言われますが、職員の一人ひとりにまでそのことが伝わっているのか疑問です。

HPに掲載されるべき議事録が掲載されていないか、会議の傍聴を事前に前日正午までに傍聴券を取りに行かなければならないものまであります。

今回、もっと市民に開かれたものとなるように、ルールを作ることを提案しました。